平成27年度学校教育自己診断結果分析

(1) 学校生活全般について

昨年度検討により「楽しい」を「充実している」に変更し、「学校が充実している」と回答した生徒は76.7%(昨年度「学校生活が楽しい」は65.1%)、「子どもは学校生活が充実している」と回答した保護者は81.1%(昨年度「学校生活が楽しいと言っている」69.0%)。学校生活に対し進路など目的意識を持ち登校しているかを確認するために、「成城高校に入学して良かった」と回答した生徒は63.4%(昨年度57.7%)、「成城高校に入学させて良かったと思う」と回答した保護者は85.8%(昨年度88.9%)。学校経営計画では生徒の満足度を65.0%、保護者の満足度を85.8%とすることを目標としておりほぼ達成することができた。今後も学習指導、進路指導、クラブ活動の充実など生徒が一層有意義な学校生活を送ることができるよう校内での検討を進める。

(2) 教職員の保護者対応

「学校は保護者の相談に応じてくれている」と回答した保護者は78.9%(昨年度66.7%)。今後も保護者との連絡を密にし、さらなる連携を図る体制を促進する。

(3) 学習指導

「授業が充実している」58.2%(昨年度類似項目「授業がわかりやすい」51.8%)と、生徒の回答では確実に学習に対する意欲の向上がみられた。学校経営計画で授業に対する満足度を昨年度より6%の向上をめざすとの目標を掲げ達成することができた。また、保護者からは「子どもさんは授業が充実していると言っている」69.2%(昨年度類似項目「子どもさんは授業がわかりやすいと言っている」36.2%)との回答が得られ、授業改善の一環として校内研修の機会を増やすなど授業力向上に向けた取り組みを強化した成果があらわれた。今後も生徒の授業理解を進めるために電子黒板、タブレット端末、コンピュータなどのICTの活用や研修を充実させ授業の充実をめざす。

(4) 進路指導

「自分の将来について考える機会がある」との設問に、80.2%(昨年度73.2%)の生徒が肯定的に回答しており、キャリア形成に一定の成果は出ている。また、進路指導には保護者も83.5%(昨年度73.0%)が「適切な指導を行っている」と答えており、進路指導体制の大幅な刷新により改善する。

(5) 生徒指導等

「社会のルールについて学ぶ機会がある」と回答した生徒は、75.4%(昨年度69.1%)であり学校での基本的な社会ルールを守る指導が生徒にも浸透していることがうかがえる。「学校生活についての先生の指導は納得できる」と回答した生徒は、46.1%(昨年度38.9%)と生徒指導について、本校の指導方針を理解している生徒が増えてきていることが読み取ることができるが、今後も生徒への指導を徹底するとともに、指導の意義も伝える機会を増やすことで対応していきたい。

学校の「安心して高校生活を送れる学校づくり」の方針に共感できますかという設問に対して、保護者より84.8%(昨年度73.6%)の肯定的意見をいただいた。確実に本校の取り組みは成果をあげている。今後、生徒指導ルールに緩急をつけるが、基本方針は変更しない。

(6) 友人関係

「学校に心を開いて話せる友達がいる」と回答した生徒は76.6%(昨年度79.3%)で、昨年度より若干減少した。平成28年度エンパワメントスクール改編によりスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、支援コーディネータが拡充される。新1年生だけでなく、新2、3年生についても活用していく。今後もさらに多くの生徒が友人関係を作ることができるよう、サポート体制を強化する。

(7) 情報発信

「学校から教育活動の内容について十分に情報発信されている」と回答している保護者は76.6%(昨年度63.2%)で向上しているが、ホームページ、学校新聞「成城」、学級通信等の充実を進めることで情報発信に努める。